

「安心して生活・来訪できるまち」実現に向け進化するMaaS「おでかけこもの」 (菰野町地域公共交通会議)

町民・来訪者の「おでかけ」利便性向上を目的に、菰野町MaaS「おでかけこもの」は令和2年1月スタート。今まさに重要視される、町民・来訪者の「安心」感を高めるため、オンデマンド交通の「事前決済」、コミュニティバスの「混雑状況表示」を新たに提供するとともに、通学者の乗車時顔認証とみまもり通知も導入。新しい生活様式と「おでかけ」利便性向上を「MaaSの進化」で両立します！

【協議会の構成(地域公共交通会議の部会として)】

菰野町、近畿日本鉄道(株)、三重交通(株)、(有)尾高<タクシー事業者>、御在所ロープウェイ(株)、国土交通省中部運輸局三重運輸支局、三重県地域連携部交通政策課、名古屋大学大学院環境学研究科 (システム構築)(株)NTTドコモ東海支社

【地域の交通課題】

- 人口約4万人。集落が分散、公共交通不便地域広がる。
→コミュニティバス網は多路線低頻度
- コミュニティバス運行効率化ときめ細かな公共交通サービス実現を両立すべく、平成30年から公共交通網再編実施。オンデマンド乗合交通を運行開始し、順次エリアを拡大
→令和2年に全域運行へ。コミュニティバスは幹線に集約し頻度増加。御在所岳・湯の山温泉の観光客の周遊可能に
- 公共交通網再編の成功に重要な、鉄道・バスとオンデマンド乗合交通の円滑な乗継を実現すべく、菰野町MaaS「おでかけこもの」運用開始。AI予約・配車システムを内包。
→乗合率向上。利用者数増加にも貢献。

【連携するサービス】

- 全てが菰野町MaaS「おでかけこもの」の機能追加となる
- 子どもの乗降時にみまもりメールを保護者に配信。
 - コミュニティバスの乗車数を取得、位置情報とともに発信。
→混雑を避ける行動を促し、安心して乗車していただく。

【実験内容】 好評の菰野町MaaS「おでかけこもの」を、 利用者・町民の「あんしん」のためさらに進化！

(1) 事前決済(キャッシュレス)機能 (まずオンデマンド乗合交通に)

- 「おでかけこもの」で可能なオンデマンド乗合交通の検索・予約時に決済も可能に。
- NTTドコモが提供するd払いを導入。



(2) 乗車時顔認証と子どもみまもりシステム (まずコミュニティバスに)

- 車内に設置するタブレット型端末によって、利用者(通学小学生)が定期券購入者であるかどうか判断。
- バス乗降時に利用者の家族へメール等で配信。



(3) 車内密集度表示

(まずコミュニティバスに)

「おでかけこもの」上に新たにバスロケーション表示を行うとともに、車内密集度状況も表示。安心して利用していただくための情報提供。

※「おでかけこもの」は他地域でも容易に適用可能なシステムとして作成



【本格的な導入に向けた検証項目、目標値】

- 決済機能 オンデマンド乗合交通(10人/月)
- 顔認証・みまもりシステム アンケートによる満足者割合 80%
- 密集状況アクセス数(50アクセス/月)